



株式会社長谷工コーポレーション

長谷工コーポレーション
ホームページへ

2007年9月中間期 決算概要



グランドメゾン杉並シーズン（東京都杉並区、07年9月竣工、総戸数684戸）

Contents

復配	P.2
業績ハイライト	P.3 ~ 6
優先株式	P.7
マンション市況	P.8 ~ 13

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。



05年2月に策定した「新中期経営計画」(計画期間:05/4~08/3)
あるいは、05年8月に公表した「資本再編プラン」で目標としていた

収益力の強化・安定

財務体質の健全性の確保

優先株式への対応

08/3に全て完了

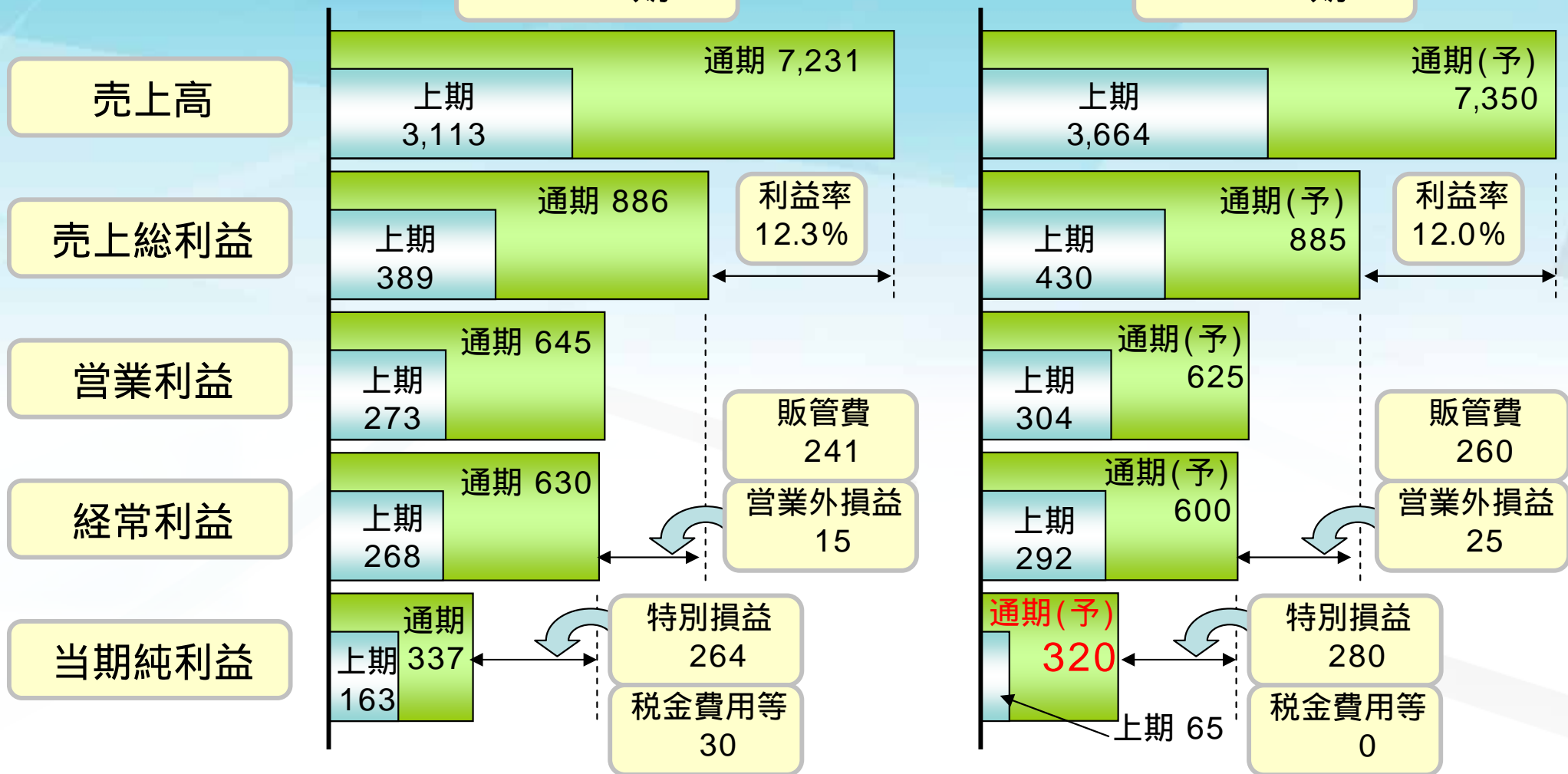
普通株式について
期末配当を実施

3円/株



07/3期

08/3期

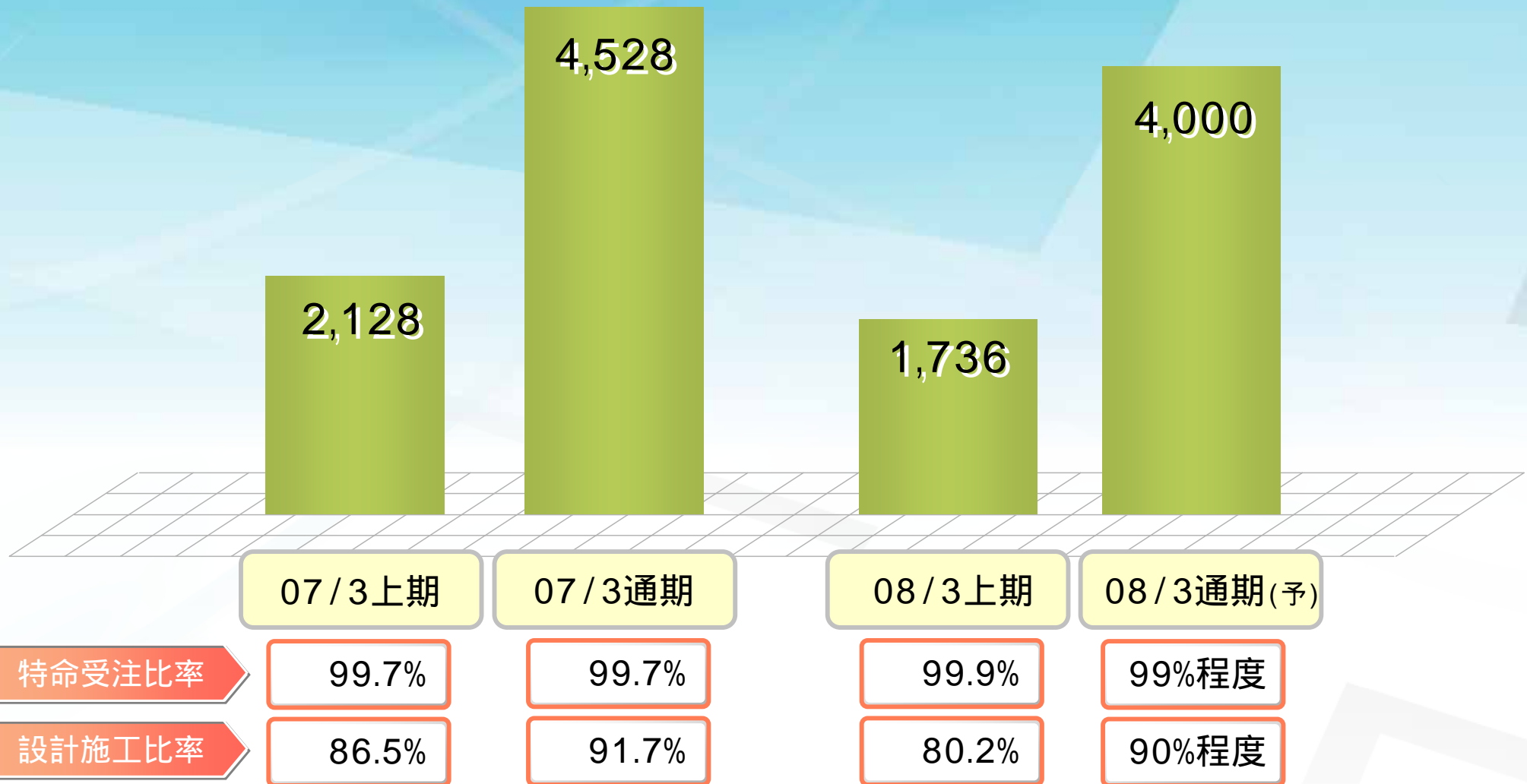


前期比増収も、**労務費・資材価格高騰、改正建基法対応**などの影響により、売上総利益、営業利益、経常利益、いずれも前期比若干減。**棚卸資産に係る低価法の早期適用**で特別損失が膨らみ、当期純利益も前期比若干減。



受注高

(単体 単位:億円)



建設事業のうち業務受託を除いた比率。

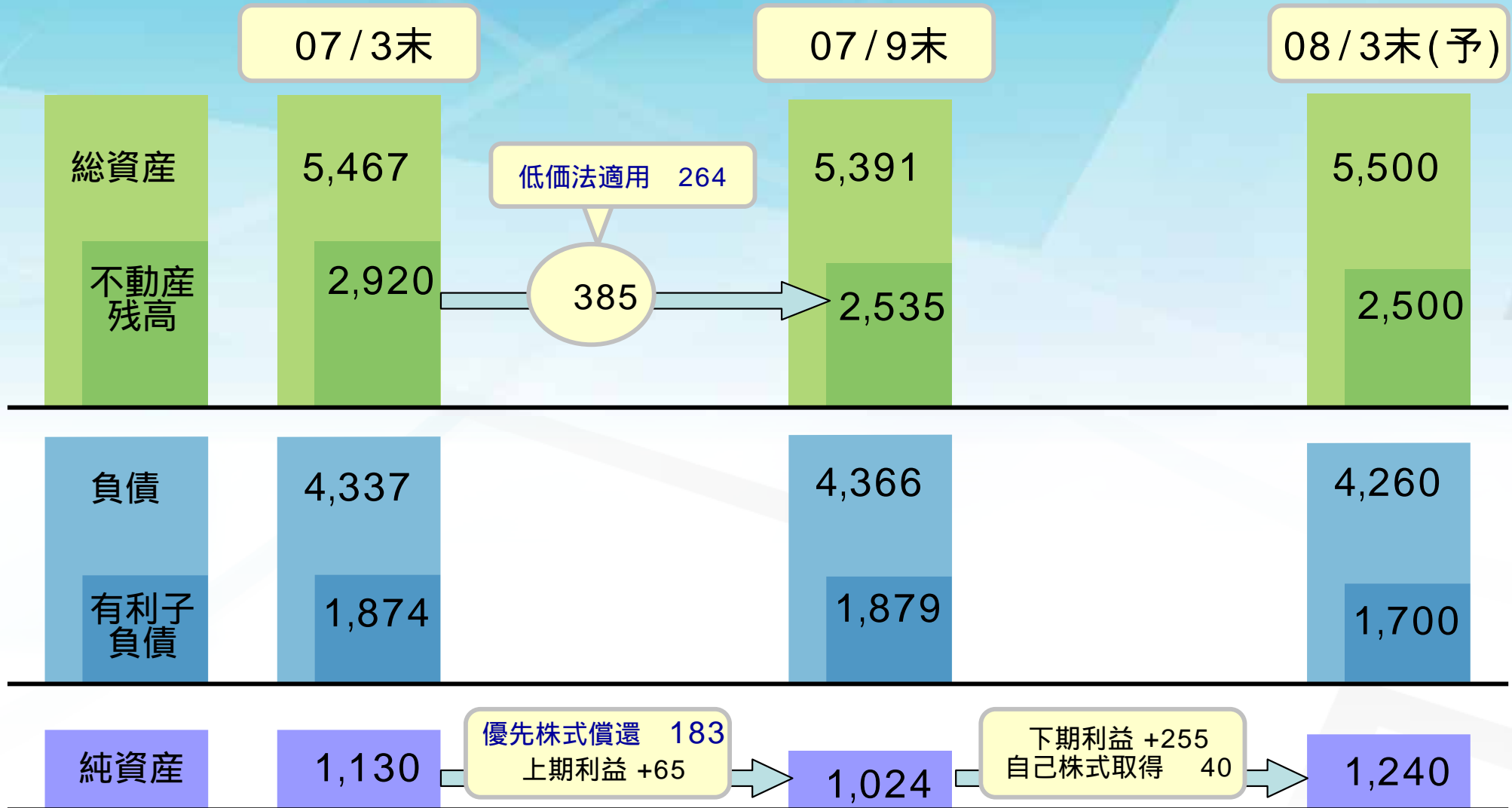
建築基準法改正の影響により、受注は前期比大幅減。工期は平均で1年半程度で、改正建基法による業績への影響が本格化するの09/3期以降。



業績ハイライト

連結B/S

(連結 単位:億円)

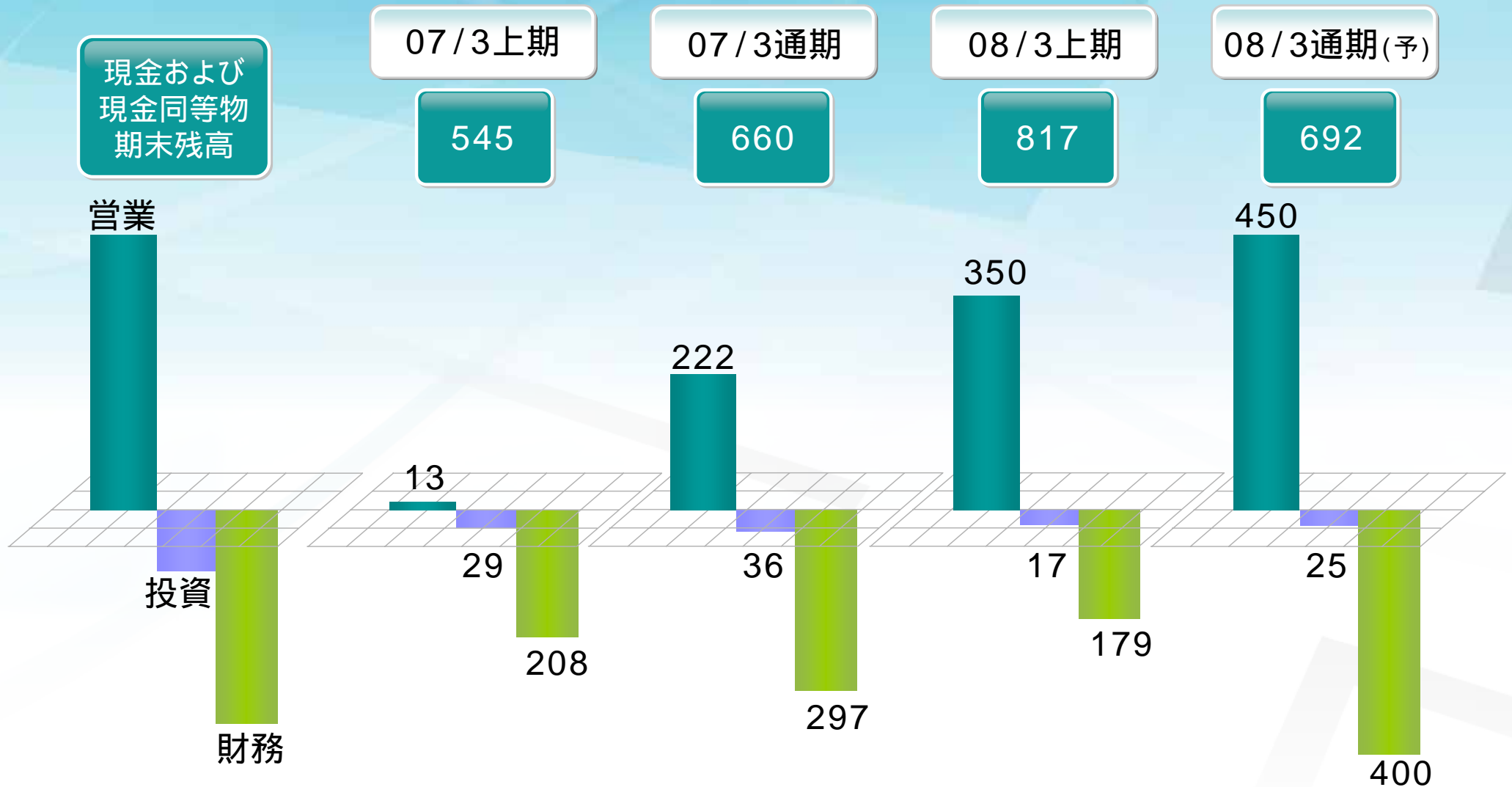


棚卸資産に係る低価法の早期適用を主要因として不動産残高が大幅減。
また、05年8月に公表したスケジュール通りに、今期も優先株式を償還。

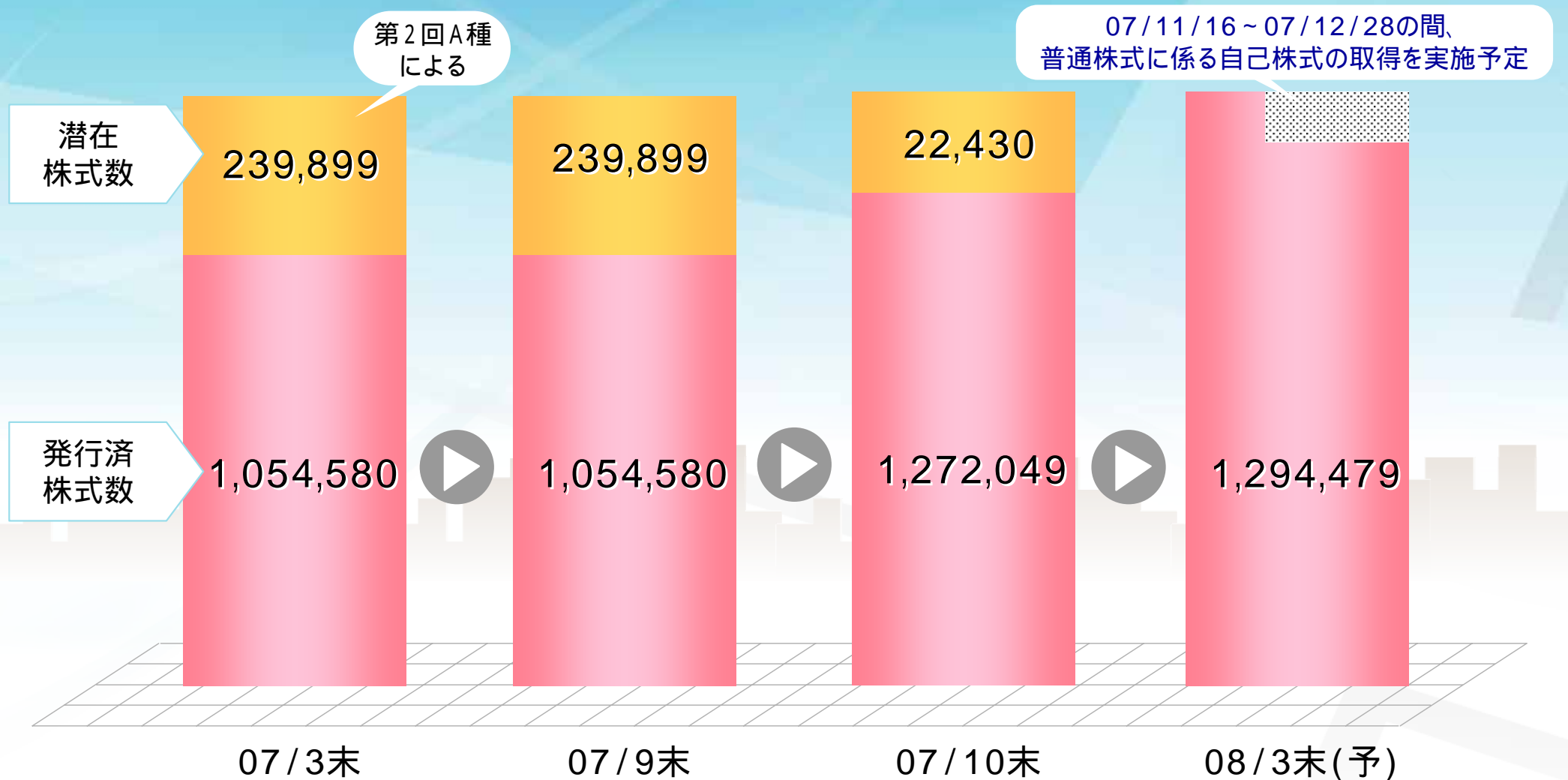


連結C/F 概要

(連結 単位:億円)



07/3期では200億円程度だったFCFは、08/3期には400億円強の水準に



第2回A種優先株式について07/10/1から普通株式への転換が始まり、上記のようにダイリューションの上限に達する見込み。10/31時点で転換率は90.7%。なお、普通株式に係る自己株式の取得については、17百万株または40億円を上限に実施予定

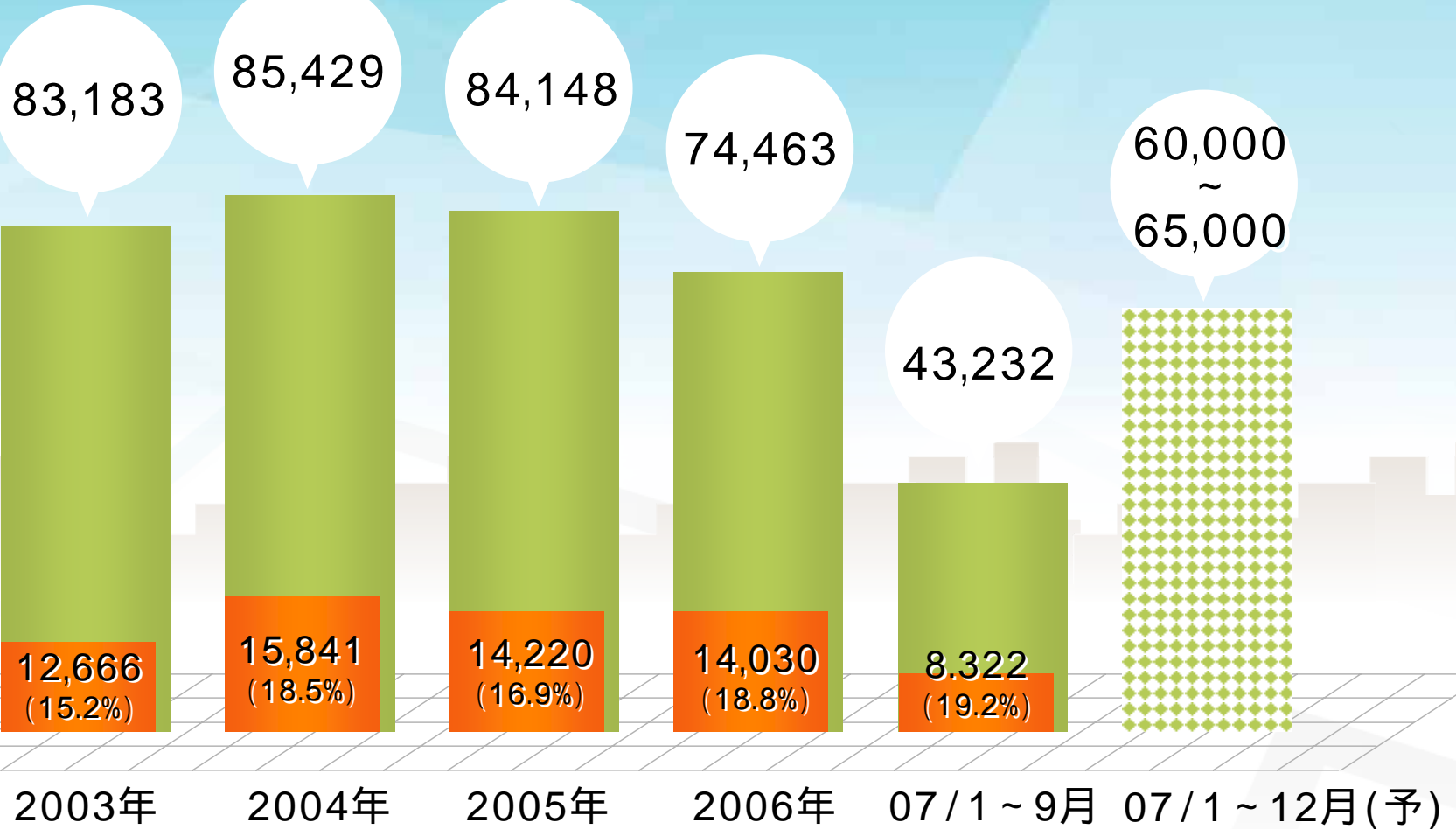


供給戸数と長谷工のシェア

■ 首都圏

供給戸数

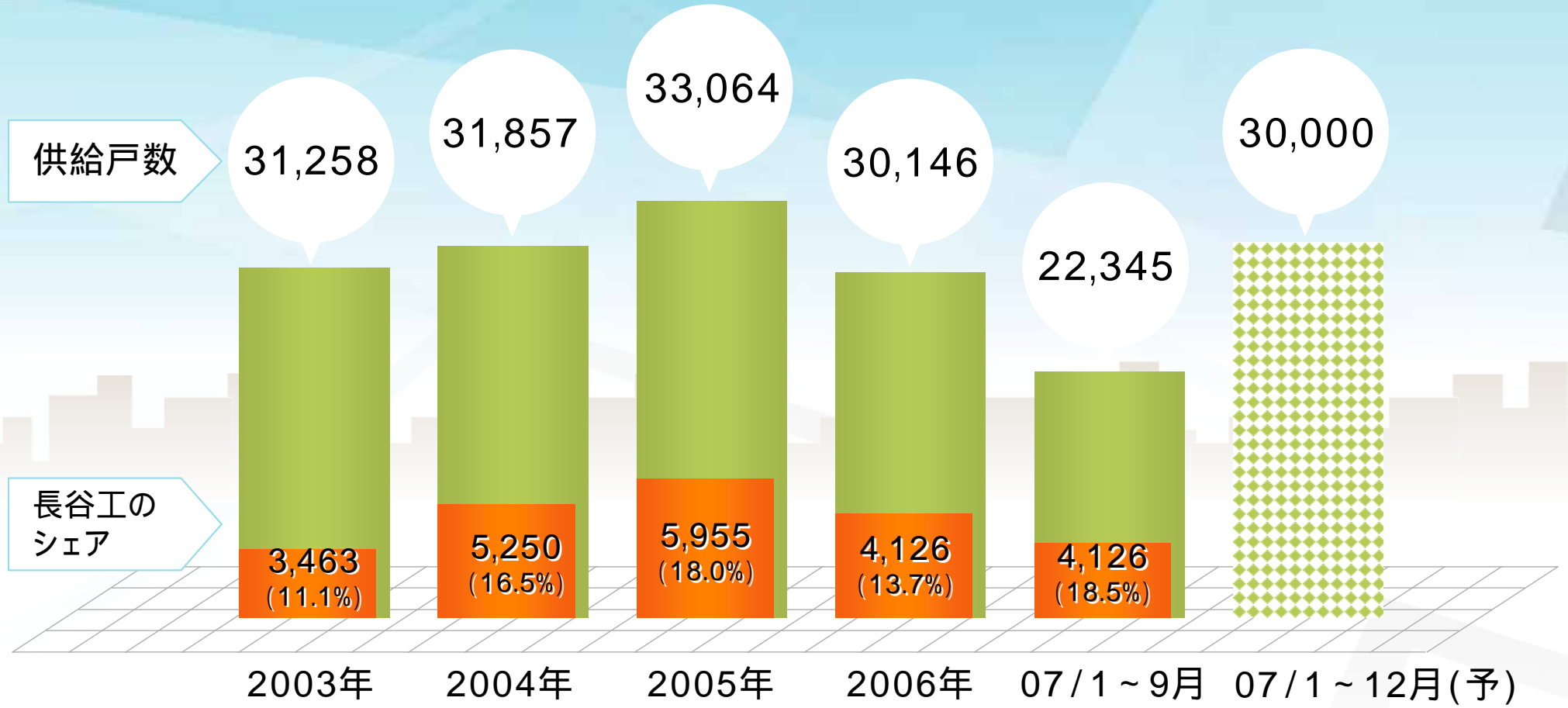
長谷工の
シェア



上昇する平均価格と伸び悩む所得とのギャップ、あるいは個別物件により明暗が分かれる「個別化」の進行、等を背景に、供給速度がダウン。
シェアについては2割弱で推移

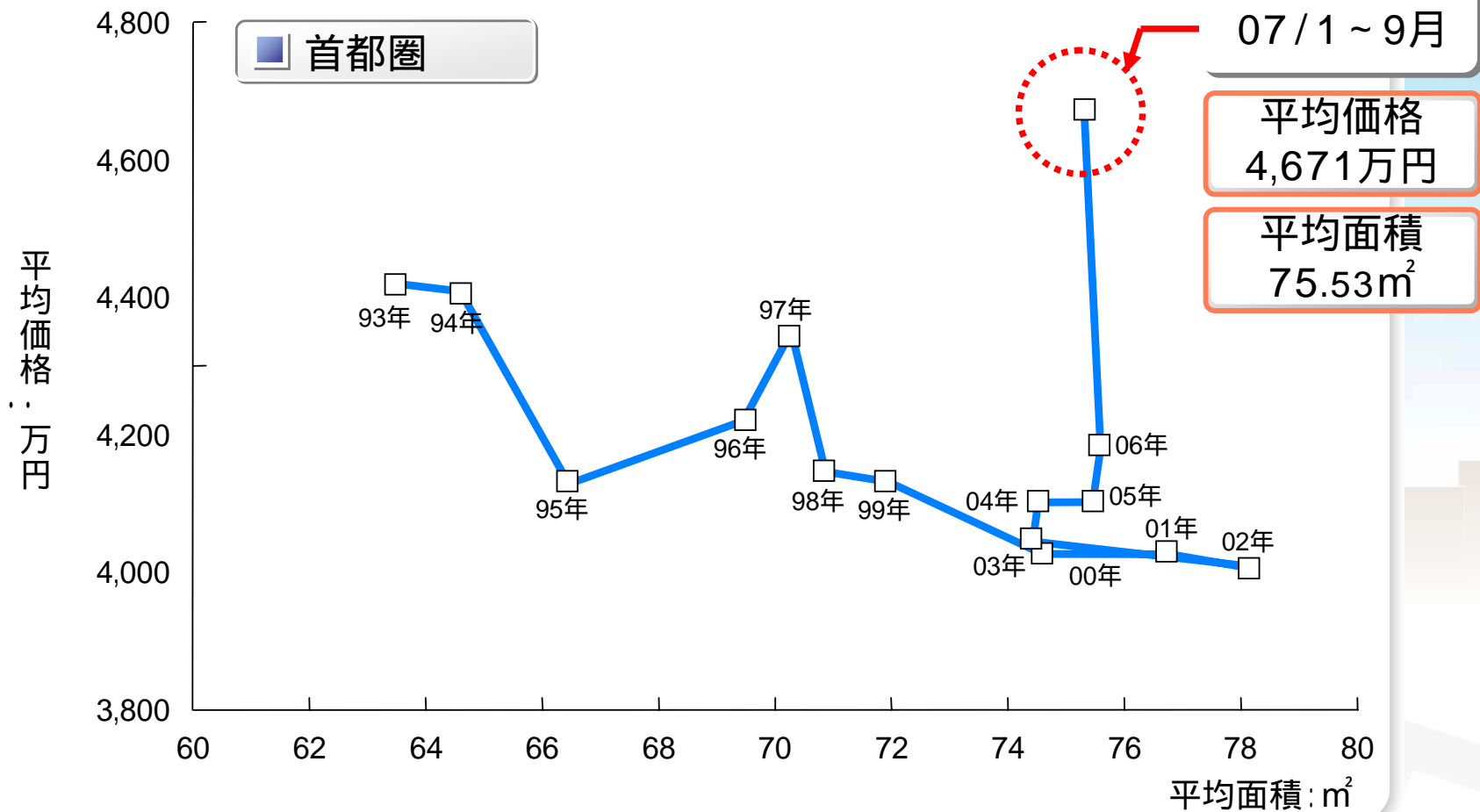


■ 近畿圏



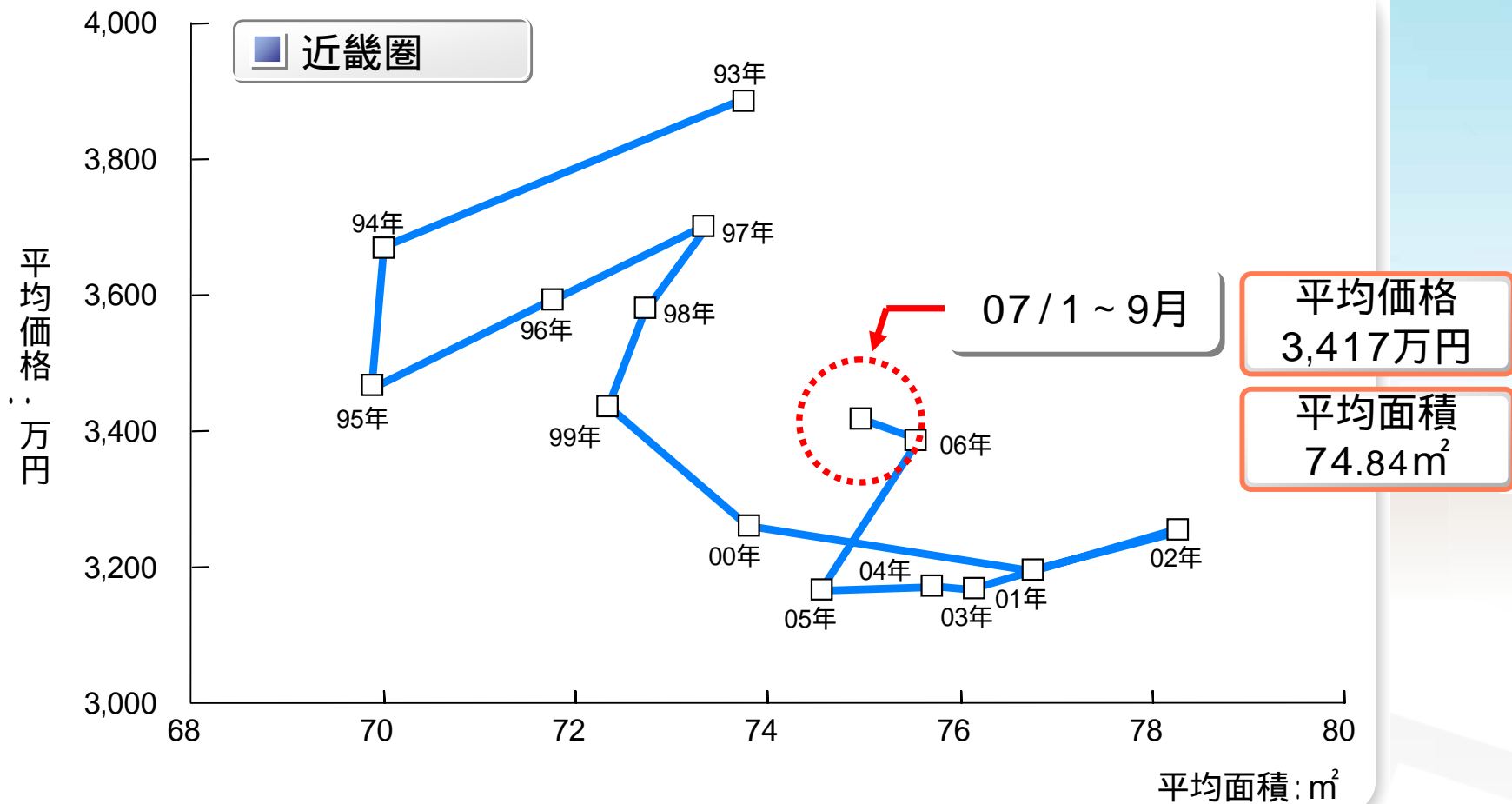
近畿圏の供給は、ほぼ例年通り。シェアについては2割弱で推移

平均面積と平均価格の推移



平均面積に大きな変化はないが、平均価格はジャンプアップしている。

平均面積と平均価格の推移

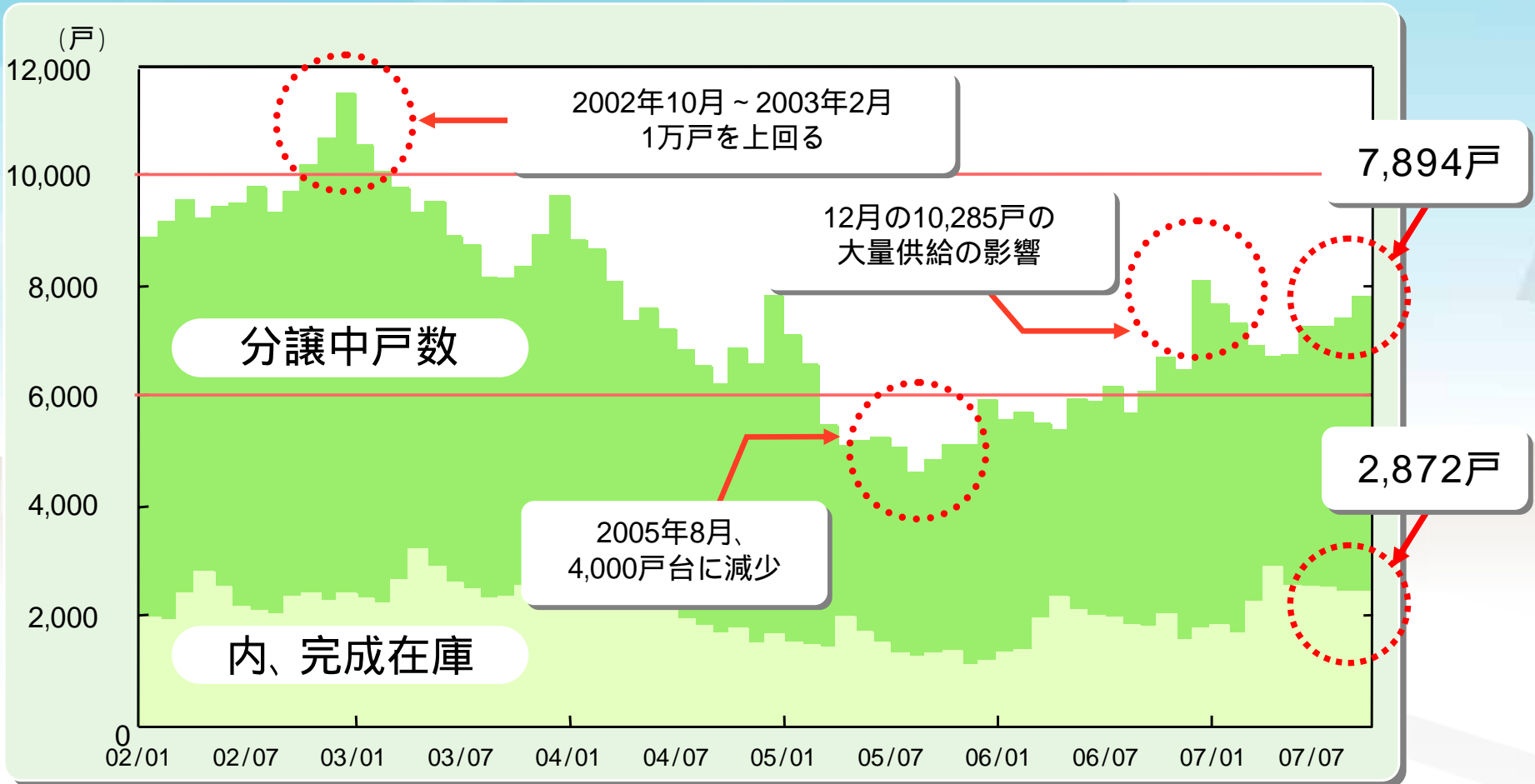


近畿圏では、平均価格は微増、平均面積は微減



分譲中戸数・完成在庫の推移

■ 首都圏



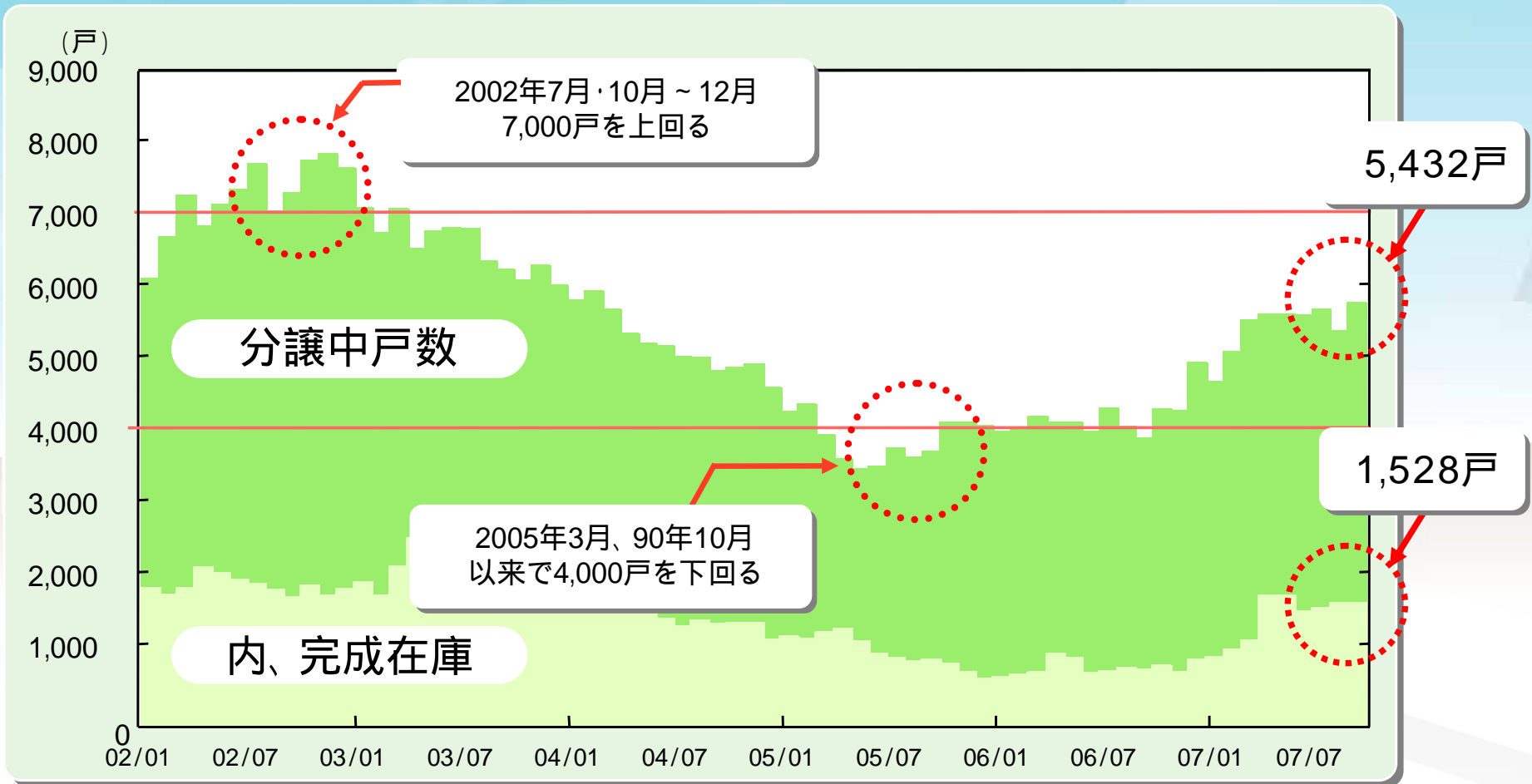
資料: 長谷工総合研究所作成

分譲中戸数は増加傾向。



分譲中戸数・完成在庫の推移

■ 近畿圏



資料: 長谷工総合研究所作成

近畿圏も分譲中戸数は増加傾向。



住まいの夢をかたちに。



株式会社 長谷工 コーポレーション